

ホルトホール大分の施設命名権継続取得 通称「J:COM ホルトホール大分(J:COM HorutoHall OITA)」

大分ケーブルテレコム株式会社(J:COM 大分、本社:大分県大分市、代表取締役社長:小森智幸)は、10月28日(火)「ホルトホール大分」のネーミングライツ(施設命名権)を取得することについて大分市と合意し、契約を締結しました。これにより、ホルトホール大分は、2031年3月31日まで大分ケーブルテレコムのブランド名称(J:COM)を冠した、「J:COM ホルトホール大分(J:COM HorutoHall OITA)」となります。



<J:COM ホルトホール大分(J:COM HorutoHall OITA)の外観>

ホルトホール大分は、「人と文化と産業を育み、創造、発信する新都心拠点」という基本構想の下、複合文化交流施設として、大分市のシンボルロード「大分いこいの道」に面して建設され、2013年7月20日にオープンしました。開館以来、市内外から約1,970万人の方々にご利用いただいております、大分市を代表する施設として市民に親しまれています。

大分ケーブルテレコムは、ホルトホール大分の基本構想に賛同し、同施設を有効活用することで地域貢献に努めるとともに、市民が集い、憩い、学び、交流する場に大分ケーブルテレコムのブランドを掲げることで、企業理念「もっと、心に響かせよう。もっと、暮らしを支えよう。明日を、未来を、拓いていこう。」を体現していくため、2018年1月より同施設のネーミングライツを取得してまいりましたが、このほど再度取得を行います。

大分ケーブルテレコムは、エンターテインメントやインターネットをはじめとした生活支援サービスのみならず、ホルトホール大分に併設されたサテライトスタジオを最大限活用しながら、地域メディア「J:COMチャンネル大分」*1を通じて、地域のにぎわい創出とコミュニティや文化交流の活性化を図り、大分市の更なる発展に貢献してまいります。

*1 地上11chで放送。大分ケーブルテレコムのサービスエリア(大分市、津久見市、一部を除く由布市)で視聴可能

通称	J:COM ホルトホール大分(J:COM HorutoHall OITA)
所在地	大分県大分市金池南一丁目5番1号
契約期間	2026年4月1日～2031年3月31日(5年間)
ネーミングライツ料	1億円(消費税及び地方消費税を含む)

J:COMのサステナビリティ

J:COMでは、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを2023年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」 サブマテリアリティ:「地域社会との共創」



地域社会の持続的な成長のために、自治体・パートナーとともに交通・医療・教育などの地域における固有の課題を、DXを通じて解決していきます。また、全国65局にプロモーション専任担当である「地域プロデューサー」を配置し、地域活性化のための企画提案や、地域密着型のメディア「コミュニティチャンネル」等でのきめ細やかな情報発信を行い、サステナブルな地域社会を創造します。

<本件に関するお問い合わせ先>

大分ケーブルテレコム株式会社 広報・マーケティンググループ 橋本 TEL:097-542-1121